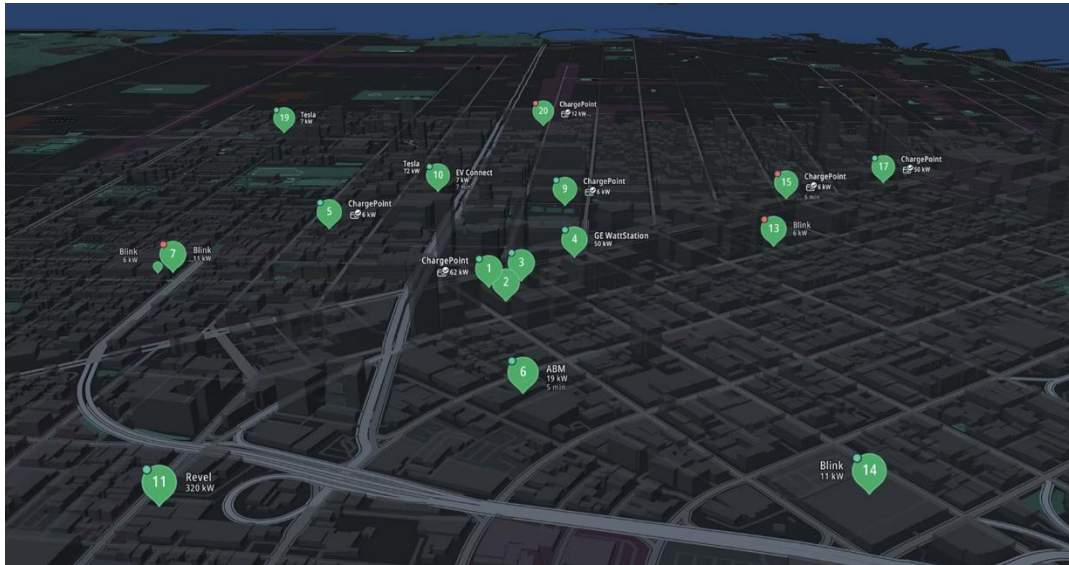


トムトム、EV 車種登録を効率化する新プラットフォーム 「Electric Vehicle Management」を発表

EV ソリューション群を拡充し、自動車メーカーの導入を加速



地図・位置情報技術のリーディングカンパニーである TomTom（本社：オランダ・アムステルダム、以下トムトム）は、自動車メーカーやモビリティ事業者が EV に必要な体験をより迅速に統合できる新たなセルフサービス型プラットフォーム「Electric Vehicle Management」を発表しました。これにより、従来は数カ月を要していた車種登録プロセスを大幅に短縮するとともに、AI を活用した航続距離予測や充電案内機能を強化し、よりシームレスな EV 体験の実現を支援します。

EV の普及が進むにつれて、市場での競争も激化しています。自動車メーカーは、ドライバーが移動の計画、運転、充電における期待を損なうことなく、新モデルをより迅速に市場投入する競争力を追求しています。トムトムの EV 向けソリューションは、EV 向けルート案内、充電スポット検索、航続距離予測、ナビゲーションを 1 つのプラットフォームに統合し、移動の全行程をサポートできるよう設計されています。世界の自動車メーカーとのパートナーシップを通じて、トムトムはすでに世界で 600 万台を超える EV を支援しています。

自動車メーカーによる機能の統合を簡素化し、開発を迅速化するセルフサービス型プラットフォーム「Electric Vehicle Management」を活用することで、自動車メーカーは EV 車種ごとの仕様を数分で登録できます。バッテリー容量、充電コネクタ、車両寸法、重量などの基本仕様を登録することで、デジタル ID が発行されます。この ID は、ルート計画、充電案内、航続距離の計算、車載ナビゲーションなど、トムトムの各種 EV サービスで共通して利用できます。



車両データは自動車メーカーの管理下に保持され、ライフサイクル全体を通じて安全に保護されます。このシステムにより、自動車メーカーは車両を一度登録するだけで、車載システム、連携アプリ、ウェブサービス全体にわたり、一貫した EV 体験を提供できます。そして導入に必要な作業負荷を軽減するとともに、市場投入までの時間を短縮します。

車両情報の登録後、トムトムは AI を活用したエネルギー消費モデルを適用します。このモデルは、物理に基づく計算と実際の走行データを組み合わせ、車両ごとに最適化された航続距離や充電に関する予測を生成し、データの蓄積に応じて精度を継続的に向上させます。これにより、自動車メーカーは車両ごとに最適化された案内を大規模に提供できるようになり、ドライバーは航続距離、ルート、充電場所について、より安心して判断できるようになります。

また、ドライバーが安心して移動計画を立て、充電できるよう、トムトムはさらに EV 向けソリューションの機能を拡充しました。ドライバーは 117 カ国にある 230 万カ所以上の充電コネクタを検索することができ、現地に到着する前に充電速度、営業時間、周辺施設、リアルタイムの利用可能状況、到着予定時刻における混雑予測などの情報を確認できます。さらに、充電器の信頼性評価機能により、故障などで利用できない可能性のある充電器を避けることができます。

走行中は、トムトムの EV 向けルート案内が各移動計画に最適な充電スポットを選択します。予定が変わり、立ち寄る場所を変更またはスキップすると、ルートが即座に更新されます。連携アプリで計画した移動ルートは車載システムと同期され、お気に入りの充電器や充電ネットワークなどの設定は端末内に保存されるため、個人データのプライバシーも保護されます。これにより、ドライバーは無駄な時間を削減し、柔軟で使いやすい移動体験を実現できます。こうした体験が、自動車メーカーやその車両に対する長期的な信頼の構築につながります。

トムトムの一連の EV 向けソリューションを使用することで、自動車メーカーはルートの選択や充電オプションの比較から、充電スポットへのナビゲーション、走行中のエネルギー管理に至るまで、ドライバーが安心して利用できる EV 体験を提供することが可能になります。

トムトムの製品・UX・マーケティング担当シニアバイスプレジデントであるレオ・セイ（Leo Sei）は、次のように述べています。「現在の EV 市場において、自動車メーカーはドライバーの体験を適切に設計しながら、迅速に製品を市場投入することが求められています。自動車メーカーは自社の車両を熟知しており、私たちは実際の走行環境における車両のエネルギー消費について知見を有しています。当社の『Electric Vehicle Management』を利用することで、自動車メーカーは従来よりも大幅に短い時間で新たな EV 車種を登録し、トムトムの EV 向けソリューションに接続できます。その結果、導入の迅速化、航続距離予測の精度向上、そしてドライバーにとってより優れた EV 体験が実現します」

自動車メーカーやモビリティ事業者は、トムトムの API や SDK を通じてこれらの機能を導入できるほか、トムトムのナビゲーションソリューションを活用することで、導入をさらに加速で



きます。「Electric Vehicle Management」は MyTomTom.com を通じて利用可能です。開発者は同プラットフォームを通じてトムトムの EV 向け API や SDK を評価し、自社の製品やサービスに合わせた EV 体験を統合できます。

トムトムについて

トムトムは、何十億のデータポイント、何百万の情報ソース、何千ものコミュニティ、これらの膨大な情報を統合し、世界で最もスマートな地図を創り出す地図メーカーです。トムトムは、ドライバー、自動車メーカー、企業、開発者に位置情報とその関連テクノロジーを提供しています。アプリケーション対応の地図、ルート案内、リアルタイム交通情報、API、SDK を通じて、トムトムは夢を描き行動する人々が世界を前進させることを可能にします。

アムステルダムに本社を置き、世界中に 3,300 人の従業員を擁するトムトムは、30 年以上にわたりモビリティの未来を切り拓いてきました。詳細は <https://www.tomtom.com/ja/> をご覧ください。

<お問い合わせ先>

トムトム 広報代理店

アリソン・アンド・パートナーズ株式会社 担当：多賀/森

Email : TomTom_japan_pr@allisonworldwide.com